

## 優秀賞

### 葛尾村の超軟水を守っていろいろ

私の住む葛尾村は、自然豊かで緑が溢れ、空気も良く澄んでいます。鳥のさえずりや、川のせせらぎ、山から吹く風の音も心地よく聞こえてきます。そんな葛尾村が大好きです。私は、こうした自然が豊かに広がる葛尾を守っているのは、水が関係していると思っています。

小学生の時に村内にある「金泉ニット」というニットの製造工場に見学に行きました。そこで作られるニットは上質で高級なものばかりです。私たちがお小遣いを出しても買えないようなものが作られています。葛尾村は東日本大震災の原発事故の影響で、今現在、村に住む人口は、三百三十五人と極めて少ないです。この場所でどうして高級ニットが作られているのだろうと私の頭の中に疑問が浮かびました。都会で作られそうな商品が田舎で作られるに

葛尾村立葛尾中学校 二年 松本<sup>まつもと</sup> 彩楓<sup>あやか</sup>

は何か理由があるのだろうかと思いましたが、葛尾村の水にあつたのです。なんとその秘密は、葛尾村の地下水は、超軟水とあって極上の水だったのです。硬度が低く、飲んでも口当たりがまるやかなことが特徴です。地下百三十メートルからくみ上げる超軟水は、糸糸を洗濯する工程において、とても重要な役割を果たしているそうです。ニットが滑らかで暖かみのある風合いに仕上がると教えていただきました。実際に触らせていただくと、肌に触れてもちくちくと嫌な感じはせず、ふわっと軽い感触が心地良かったです。超軟水は、とても珍しく高級ニット製品を作るために適しているそうです。そこで疑問に思っていたこともすつとふに落ちました。葛尾の超軟水からあの高級ニットが作られ、消費者に笑顔を届けていることが分かりました。

また、「せせらぎ荘」という宿泊施設では、その超軟水のお風呂に浸かることができます。雨水や雪解け水が長い年月をかけて浸透し、五十人山のふもとからくみあげられた超軟水は、とても貴重な水です。豊かな自然が質の良い水を生み出します。私も家族で入浴に訪れたことがあります。肌がしっとりすべすべになり、リラックス効果も高く、いやされました。

葛尾村の地下水は村民の生活用水としても利用されています。私の家でも井戸水を利用しているのですが、毎日使っています。違う場所に出かけたときに水を飲むとその美味しさを実感します。発展途上国などの水道設備の整っていない土地、濁った水を飲み水として扱わなければならぬ状況を想像すると、なんてありがたいのだろうという気持ちでいっぱいになります。蛇口からおいしい水が流れ出ることは、当たり前になってしまっていて、その大切さをみんな忘れていく気がします。

近年、水の枯渇や水質汚染が危ぶまれていると新聞やニュースで取り上げられていたことを思い出し

ました。海外の資産家が日本の水源地の山林を購入していたり、気候の変動でダムへの渇水の恐れがあったりすると理科や社会の授業で、先生方から教わりました。今はこうして簡単に蛇口をひねれば必要な分の水を確保することができます。不自由な生活を送ることができているので、誰もが水が出なくなるなんて思いもしないでしょう。

しかし、このまま水問題が深刻化すると葛尾村の地下水もいつ枯渇するか、汚れてしまうかわかりません。他人事だとは思わず、一人一人が真剣に受け止め、対策を考えていく必要があります。

私は、この先ずっと葛尾村に住んでいたいのです。そのためには、水が必要不可欠です。私たちが使用する水を、毎日コップ一杯減らせば、その分、水を長く使えるようになります。わずかな節水もみんなで行えば、大きな成果に繋がるのです。これから、葛尾村の自然を守り、超軟水を使い続けていきたいです。